

1. 社会実験実施概要



交通検証等に伴う空間利活用社会実験「御堂筋チャレンジ2022」の実施概要

- 実施時期：2022年10月15日（土）～11月13日（日）
- 実施場所：御堂筋・新橋交差点～難波西口交差点の沿道（約1kmの区間）
- 実施主体：NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会／（一社）ミナミ御堂筋の会（大阪市指定・道路協力団体）／大阪市建設局

【3期整備区間】今後の整備へ影響検証＋道路協力団体による利活用の検証

10月の側道閉鎖に伴う交通環境の影響検証等とあわせて、道路協力団体として将来の利活用の検証を官民連携で行い、今後の整備や利活用のあり方へ反映する。

（御堂筋鯉谷交差点～御堂筋清水町交差点区間【3期北】）

- ・ほこみちエリアの滞留・にぎわい創出
- ・違法駐輪対策
- ・夜間等の安全対策

御堂筋・長堀21世紀の会

（御堂筋周防町交差点～道頓堀橋北詰交差点区間【3期南】）

- ・ほこみちエリアの滞留・にぎわい創出
- ・周辺商店街への誘導・情報案内
- ・違法駐輪対策

ミナミ御堂筋の会

【2期整備区間以南】

2021踏まえたベンチ等の検証と、御堂筋等と連動した回遊性創出等への検証

（2期整備区間以南）

2021の社会実験の成果を踏まえ、道路空間再編工事完成とともにベンチ等の検証を行い、継続した管理運営方策へとつなげる。

- ・滞在空間の創出（ベンチ等の設置）
- ・東西商店街への誘導（サイン等の設置）

ミナミ御堂筋の会

（東西通りとの連携）

過去の社会実験の成果を踏まえ、御堂筋・広場とも連携した東西方向への回遊の創出や放置自転車対策などを地域と連携して実施し、その効果をデータ取得等を通じて整備後の効果を検証する。

- ・南地中筋商店街実施のイベント等との連携
- ・カフェストリートでのオープンカフェ実施
- ・放置自転車対策等、面での適正化の実施



官民連携による社会実験「御堂筋チャレンジ」の実施経過

第1弾：2017

モデル区間整備・御堂筋完成80周年をきっかけに、将来の魅力ある滞在空間を可視化



- ・モデル区間完成（2016）
- ・御堂筋80周年記念事業（2017）
- ・御堂筋将来ビジョン策定（2018）

第2弾：2020

歩行者利便増進道路指定を念頭に区域指定・整備の検証と、道路協力団体による継続利活用の実験



- ・新型コロナウイルス感染拡大（2020～）
- ・道路協力団体指定（2020）
- ・2期区間整備開始（2020）

第3弾：2021

道路協力団体による利活用拡大と、周辺・なんば駅前広場とも連携した歩行者回遊データの検証



- ・歩行者利便増進道路指定（2021）
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催（2021）
- ・2期区間整備、完成（2022）

4回目の社会実験「御堂筋チャレンジ2022」のねらい

ねらい①

整備後の管理運営スキーム

＜過去社会実験の取組＞

- 道路空間の適正化に向けた活動（放置自転車対策）と検証
- ベンチ・歩車分離サインの設置・検証
- 植栽の設置や維持管理の試行
- 維持管理のための財源確保の試行



ねらい②

道路空間の利活用形態

＜過去社会実験の取組＞

- 道路協力団体による多様な道路空間の利活用（オープンカフェ、ベンチ、案内板、モビリティハブ ほか）
- AIカメラなど最新技術の導入
- 利活用プレイヤーの発掘



ねらい③

エリア回遊創出・連携

＜過去社会実験の取組＞

- 面での回遊効果のデータの取得、検証
- 東西通りとの連携（オープンカフェによる回遊、環境改善）
- 地域・商店街との連携、産官学民での回遊性創出研究



2022社会実験のテーマ

2025めざして「御堂筋」のシクミをつくる社会実験

将来のシクミ①

道路管理運営の
新たなシクミをつくる
⇒道路協力団体制度活用

将来のシクミ②

多様かつ持続性ある利活用
を実現するシクミをつくる
⇒ほこみち制度活用

将来のシクミ③

産官学民が一丸となって
エリア回遊創出・連携に
取り組むシクミをつくる

2025大阪・関西万博

3期区間完成/なんば駅前広場完成/
万博関連事業/ほこみち本格活用など